
私だって猫である。

イグニス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私だつて猫である。

【著者名】

Z2692Z

【作者名】

イグニス

【あらすじ】

襖を開ける猫
人語を解す猫
手ぬぐいを被つて踊る猫

そんな、ちょっとぴり長生きな猫と、齡三十のただのオッサンの話。

襖を開けて何が悪い

はじめまして諸君、私の名前はシユタイナー。
ご覧の通り猫である。

真っ黒でツヤツヤの毛並みと、ダークグレーの右耳が白黒の…ただの猫だ。

多少他の猫よりも長生きではあるが、まだまだ現役のつもりでいる。

私は、私自身の生い立ちについて、あまり深くは知らない。

どうも主人達が言つこゝ、嵐の夜にこの家の軒下で、何とも情けない声で鳴いていたそうだ。

当時は目も開いてなかつたらしい…全く、育児放棄も甚だしい。

そんな私を拾い上げたのが、「物好きな偏屈」として有名な「」主人で、名を
「間臼 忠夫」
(まうす ただお)
と言つ。

外見は何処にでも転がつて居そうな中年男、年齢も見た目通りにキッカリ三十であるが、私はこの男を気に入つてゐる。

…マウスにチューとは、何とも魅力的な名前ではないか。

この書は、色々と忘れっぽい我々猫族の伝統に従い、私の一生を記録として記したものだ。

当然の事だが、この書は猫語で記してある。

私は人語もたしなむが、体の造りの都合で話すことや書くことは不得手なのだ。

さて、何から書いたものか…。

爽やかな朝と不様な男

私の一日は起床から始まる。

…と言つても、私もただの猫である。

他の猫同様、一日に何度も寝起きする私にとって「一日の始めの起床」など有つて無いようなものだが、それでも目覚めた時の心地よさは変わらないものなのだ。

私は、まどろみから目覚める感覚を堪能し、間臼の布団から這い出る、大きなアクビを一つと全身を使って伸びをする。

特定の寝床を持たない私は、その日の気温や湿度、間臼の機嫌の善し悪し、来客の存在などを踏まえ綿密に計算した上で、その日の適当な寝床を決める。

陽のある内は窓辺が殆どだが、最近は日が沈んでからが冷えるため、間臼の布団か「パソコン」とかいう温かい箱の上がお気に入りだ。パソコンとやらは、常にうなり声のよくな物が上がり少々うるさいのだが、それも寝てしまえば気にならない。

天辺の幅の狭さも、持ち前のバランス感覚の前には、さしたる傷害ではない。

…が、いつでも温かいという訳ではない。

間臼がパソコンを動かさなければ、あの箱はただの冷たい箱なのだ。そんな時は、やはり布団に限る。

寝心地こそタオルのが勝るもの、その温かさは正に魔性。

私ともあろう者が、布団から引き離されそうになつただけで、無意識に爪を立てて抵抗するほどに抗い難い居心地なのだ。

特に毛布などと言つものは、最早逃れようのない魅力がある。

…さて、随分語ってしまった。

あまり語ると一度寝の欲求に呑まれてしまいそうだ。

私は伸びを止め、間臼の顔の上に座り直した。

しばらく座つてみると、間臼はうめき声を上げ、次の瞬間には必死

の形相で跳ね起きる。

その勢いに飛ばされる前に、私はヒラリと床に降りる。

こうして間日を起すのが私の日課となつていて

いつからいつして居るのか覚えはないが、気付いたらこうなつてい

た。

寒いのか、そもそもと布団の中で着替えている間日を見つめていると、何やら得体の知れない悲しみに包まれてくる。

… 実に不様である。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2692z/>

私だって猫である。

2011年12月21日16時46分発行